



## 岐阜県聴覚障害者情報センター

祝5周年!

# ふれあい Week

平成24年11月14日(水)～19日(月)の間、「ふれあいWeek」と題し、様々なイベント(企画)を開催しました。

来場された皆様、催しに参加して下さった皆様、本当にありがとうございました。

今号では、ふれあいWeekの様子を写真を交えて、ご紹介したいと思います。



こちらは、情報センターの入り口です。

昨年は、事務所内に掲げていた横断幕を、今年は入り口に掲げてみました。

通りすがりの人からも、「看板がいいですね」という声をかけていただいたりと、人目につきやすい場所だったことが良かったようです。

続いて、センター内の展示をご紹介します。

### 関係団体のパネル展示



情報センターの関係7団体のポスター及びパネルによる団体紹介の展示ブースで、団体の名称は知っていても、どんな活動をしているのか知らなかったり、改めて活動の内容を知ることができる展示となっております。



こちらは、ふれあいWeekとは関係なく、常設している情報コーナーです。県内や全国の聴覚障害に関連するニュースや話題などを掲示し、できるだけ新鮮な話題を提供するために日々情報収集に努めております。情報センターにお越しの際は、ぜひ一度ご覧になって下さい。

聴覚障害に関わる新しい技術の開発や、防災に関わる対策・対応法など、

情報の範囲は幅広く収集しております。

また、期間中はボランティア室を開放し、お茶やコーヒーを飲みながら、談話できる場所を設置しました。

次項では、ふれあいWeek期間中に開催された主なイベントの様子をお伝えします。

## 初級手話教室



毎月1回、恒例で開催される「初級手話教室」

今回の参加者は14名といつもより多めで、賑やかな教室となりました。

今回は、指文字を覚えるのに苦労したとアンケート結果にもあり、最初から50音の指文字を覚えるのは難しかったようです。

参加者の中には書籍などで指文字を学んだ方もいらっしゃるようですが、実際に生の手話を見て改めて勉強になったとお話もありました。

手話に初めて触れる方には指文字が難しいかもしれませんが、これも繰り返し使ったり練習することで、自然に身につくのではないのでしょうか？

この教室の参加をきっかけに、手話を使える方がどんどん増えてくれることを願っております。



## 要約筆記体験



聴覚障害者の情報保障の手段として、「要約筆記」というものがあります。

名称は知っていても、実際どんなことをやっているのか？。そんな疑問を解決出来るような企画として、開催しました。

できるだけ要約筆記を「体験」してもらいたく、今回は実際に「書くこと」を中心に講座が進みました。講師が朗読する文章をロール紙に書き込んだり、ホワイトボードを使って会話をしたりと、

参加された方のほとんどが初めて経験することだったようです。

「要約しながら文章にする」一見、簡単そうですが、いざ実践してみるとなかなか思うように手が動かなくなったりしたようです。

皆さんも、要約筆記を体験してみませんか？



## 生活講座



最近、二つ折り携帯に変わってスマートフォンを持つ人が増えてきており、以前の携帯とスマートフォンの違いや注意点などを講師に説明してもらいました。

当日参加を含め15名の参加があり、みなさん興味深く話を聞いていらっしゃいました。

参加者の中にはすでにスマートフォンを使っている人もいらっしゃいましたが、さらに便利な使い方や機能の説明に興味深く聞き入り関心の高さがわかりました。

特に、今までメールの文字変換に手間取っていた方も、手書きで文字入力できる機能には、驚いていたようです。さらに、最近のスマートフォンには翻訳機能も備わっている機種もあり、海外旅行などでもとても便利に使えたと説明がありました。

全ての方に実際に触って体験してもらえなかったのが残念ですが、こういったことを踏まえて、次回開催時には皆さんに体験していただけるように検討したいと思います。

## 聴覚障害者セミナー

手話通訳士の山岡成子氏（岡山県）を講師に迎え、「マナー教室 ～こんな時どうする？～」をテーマに講演いただきました。まず、第一印象の大切さ、外見（55%）+音声（38%）+言葉（7%）の割合で、3秒～15秒という短い時間で、相手のことを判断するようです。外見とは表情・動作・服装・メイク・立ち振る舞いなどがあり、これらの印象が半分を占めています。マナーの講演などでよく聞かれるTPO（ティーピーオー）とは、T…Time（時）、P…Place（場所）、O…Occasion（場合）の意味で、その時と場所に合わせ清潔感を大切に身だしなみということです。

皆さんは普段外出するときや、友達に会うときなどTPOを心がけていますか？

また、あいさつに関しても同様で、あ…あかるく、い…いつでも、どこでも、誰とでも、さ…先に自分から、つ…つづけて。というような気持ちで行なって下さいと話がありました。

どのテーマにおいても、講師の実体験から話されているので、参加者にとっては賛同できる場面が相当あったようで、終始盛り上がったセミナーとなりました。



講師：山岡成子氏



# ビデオライブラリーからのお知らせ



平成 24 年前期分の字幕付きビデオライブラリー（DVD）が到着しております。

今回は、平成 23 年 3 月 11 日に発生した「東日本大震災」をテーマした作品「ETV特集 福祉の真価が問われている～障害者震災1か月の記録～」や「3・11 大震災 シリーズ16 手話で伝えた被災地～心の壁を越えて～」が入荷しております。

その他入荷したタイトルは、連続ドラマでは「JIN - 仁 -」「ゲゲゲの女房 総集編」。

長編ドラマでは「花嫁の父」、その他にもたくさん入荷しております。

入荷したビデオ（DVD）の一覧表は、情報センターホームページの利用案内に掲載しておりますので、ぜひご覧になって見て下さい。



## 小さなインタビュー



岐阜市福祉型児童発達支援センター みやこ園から、小さなインタビューが見学に来てくれました。

当日は、それぞれが考えた質問をインタビュー形式で質問し、その答えを一生懸命メモに書き留めていました。

施設内を一通り見学しながら、気になったことをデジカメで写真に撮影し、まさに新聞記者さながらでした。

特に気になったものがホワイトボードが組み込まれた大型テーブルと、電話通訳の際に使用するヘッドセットマイク。

ホワイトボードには、自分の名前を書いたり筆談を試みたり。またヘッドセットマイクは、実際に電話通訳している様子を再現し、とても興味深そうに見ていました。

後日、子どもたちが作成したオリジナルの新聞が届き、職員一同で拝見させていただきました。ありがとうございました。



後日届いた新聞

## 情報センターからのお願い



情報センターボランティア室を利用された方なら見覚えのあるイスだと思いますが、最近、このイスが写真の様に壊れてしまっているものが多数見つっております。

予備として備えているイスも数が少なく、このままイスが壊れ続けると、イスが足りなくなる可能性もあります。

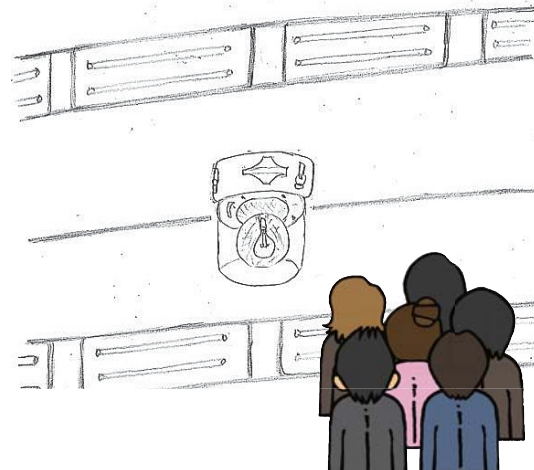
ご利用される方には、今一度イスの使用についてご注意ください。よろしくお願いいたします。よろしくお願い致します。

# ある日の情報センターの一コマ

情報センターの中には災害時通報装置があります。

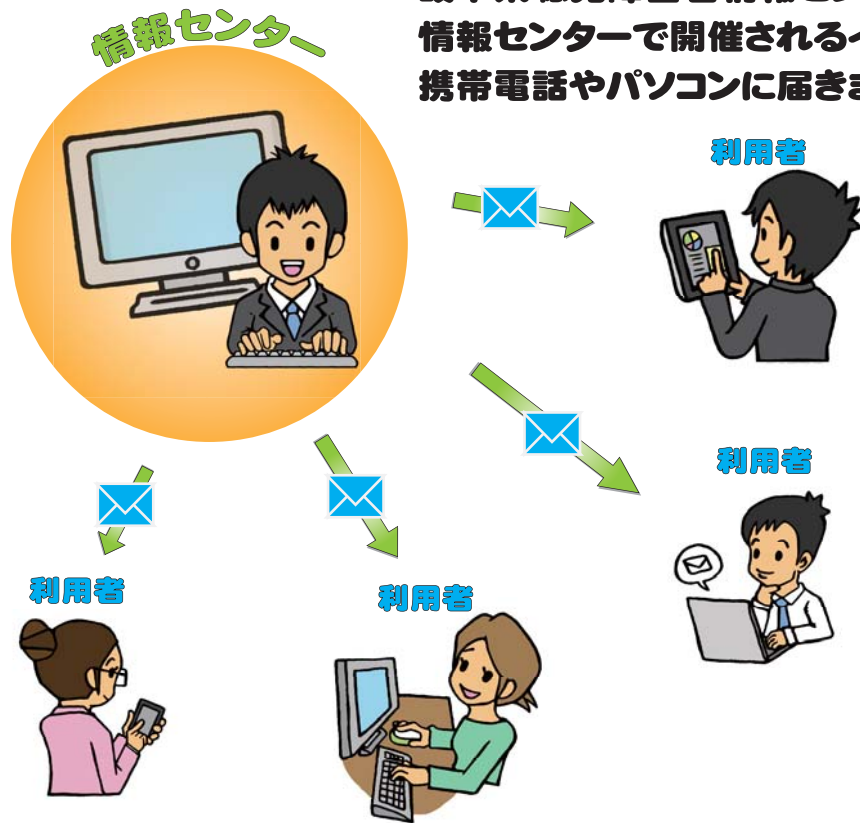
緊急時通報装置として、各部屋に設置し、パトライトタイプとフラッシュタイプがあり、毎年行われるふれあい福寿会館の避難訓練時には、実際に作動し点灯・点滅をします。

パトライトタイプは事務所のちょうど真ん中に設置してありますので、来所された時にはご覧になってみてください。  
(通常のパトライトの1.5倍との噂が…)



## 登録してみませんか？

岐阜県聴覚障害者情報センターから、字幕付き映画情報や情報センターで開催されるイベントの案内などのメールが、携帯電話やパソコンに届きます。



### 配信されるメール (イメージ)

聴覚障害者情報センターメールサービス  
★日本語字幕付き映画情報  
『〇〇〇〇』〇月〇日～〇月〇日  
場所：〇△□映画館



聴覚障害者情報センターメールサービス  
★講座開催のご案内  
『フラワーアレンジメント』〇月〇日 〇時～  
場所：ボランティア室



登録は左上のQRコードをご利用いただくか、氏名、性別、住所(〇〇市)、聴覚障害者・健聴者の区分を記入し、[mail@gifudeafcenter.jp](mailto:mail@gifudeafcenter.jp) までメールを送信して下さい。

2～3日中に、「登録完了」のメールが送信されます。「登録完了」のメールが届かない場合は、携帯電話・パソコンの迷惑メールの受信拒否設定等をご確認下さい。



情報センターのブログをご利用下さい。  
毎月開催される講座の案内や、字幕付き邦画の上映予定など情報が満載です。  
携帯電話からは左のQRコードを読み取ると簡単に情報を得られます。  
パソコンからは <http://gifudeaf-center.no-blog.jp/> まで。

